

日常生活物資はなにしろ安い！

細谷 和宏

先月まで暗い、マイナス面のレポートになってしまったので、明るい話題、物価のお話を中心にしたいと思います。

日本は常に物価指数では世界ワースト5に入る何を買っても高い国です。このことは、日本へ来たい外国人にも悪影響があるようです。実際、ここ山西大学の留学生の友だちは日本に来たかったけど物価が高かったので中国に来たと言っている仲間が何人かいました。イタリア人女性はイタリア語以外に、スペイン語、フランス語、英語を流暢に話します。彼女の次はオリエンタルな言語をと日本語を勉強したかったけど、経済的な理由で中国に来たと話していました。ちなみに、日本以外の国、特にヨーロッパではマザーランゲージ以外に英語と何か国かの言語を習得しているのが若い人たちを中心に当たり前のようです。たとえば、フランス語と英語、ロシア語と英語その他いろいろですが、むしろ英語が第三外国語になっているようです。やはり長い歴史のなかで支配関係にあった国々の事情があるようです。

話はそれでしたが、若い学生は、働かないで生活費をぎりぎりに抑えて今後の生活のために死にもの狂いで中国語を勉強しにきているので、日本より物価の安い中国を希望するのはよくわかります。中国の物価について、世界的な物価指数では現在どのくらいの位置にあるのかは分かりませんが、結論から言うと、日常使われる生活物品、特に食料はとても安いです。

例えば、下の写真の中国製のビール。600ml入った瓶ビールです。これがなんと、日本円で約40円（1元を16円として換算 以下同じ）です。しかも、これが留学生の寮に一番近いスーパーの特売日では、なんと24円になっていました。成分の細かい内容が日本でのビールにあたるのかはよく分かりませんが、アルコール分は日本より低めで3.3パーセント程度です。



次に、学食で普通に留学生が昼食に食べる中華料理です。日本のようにスープやサイドメニューみたいなものは一切つきませんが、量はとにかく多いです。たとえば、チャーハンは80円からあり、日本の大盛り以上に更に普通盛りを足したくらいの超大盛りです。ほかには、おかずが20種類くらい陳列されているなかから自分の好きな食材を3種類選び、ご飯に乗せてくれるスタイルの中華料理は100円からあります。

こちらの学食系の食事はとにかく脂っこいです。私は、学食の食事は半分食べられればいい方ですが、こちらの中国人女子学生はいとも簡単にきれいにたいらげています。でも、最近気づいたのですが、中国人の学生で肥った子を見たことがあまりありません。とにかく一度に食べる量は半端じゃないのに、なぜ肥らないのかがまったく謎ですが、もし聞けるチャンスがあったらその秘密も探ってみていつか報告させてもらいたいと思います。ちなみに、脂を溶かす何々茶とかいうのをみんな飲んでいるなどの様子はないので、たぶん生活全般の中にヒントがあるのかもしれませんが。

また余談ですが、大学内に主な食堂は3か所あるのです。一階、二階と大広間になっていて多くのテーブル、いすがあります。中に入るとどの食堂も中華料理独特の同じ匂いがして、私は11月ころから食堂に入るとこの匂いに酔ってしまい、まったく食事が摂れなくなってしまいました。あれこれ自炊も考えて、普段日本で食べているものを思い出して作ったりもしましたが、パンも味が日本とは違うし、驚いたことに日本でも有名なファストフードもここ中国では

中国料理のテイストになっているのです。何回か試したものの、ハンバーガーも食べられなくなってしまい、あれよあれよという間に8キロ痩せてしまいました。

もし、渡航をお考えの方がいらっしゃったらぜひ日本から普段自分が食べている物を中心に持ってきた方がいいと思います。日本語が書いてあるふりかけをこちらで買ってご飯にかけて食べても、ふりかけがまったく違う味です。カップラーメンなんかもまったく違う味ですので、こんなものまで、と思うくらい持ってきた方がいいと思います。

安いと言えば他に床屋もそうです。普通の男性の散髪で髭剃りとか何もなく、ただ髪を切るだけの床屋さんで130円。私はまだ体験していませんが、はっきりとここをこのように切ってください、と事前に言わないとみんな同じように思いっきり刈上げされてしまうらしいので、もっと中国語が話せるようになってから行きたいと思います。

それと、山西大学に来て早々、腕時計のベルトが切れてしまい修理したらちゃんとした黒い革のベルトを取り換えてつけてくれて80円でした。日本に帰るときは今後のためにあと何組か買って帰ろうと思っています。

その他、お酒ばかりのことを言って申し訳ありませんが、なにか香辛料（留学生仲間では漢方薬の匂いと言っています。）のような匂いがあるので、好き嫌いはあると思うのですが蒸留酒、つまり日本で言うところの焼酎に匹敵するでしょうか。これはなんと65度のアルコール分があり、2リットルで300円。日本の一般的な焼酎が20度、25度だと思うので、日本のアルコール度へ換算するとざっくりと3倍の6リットルの焼酎が300円で買えることになります。飲みなれないと癖があって飲めないなので、私はオレンジの生搾りで割って飲んだりしています。

あとはどんな物があるでしょうか。最近ハマっているのは直径5cmくらいあるシュークリームがざっと15個くらい入って（量り売り）50円。この味は普通に日本人が食べておいしいです。イタリア人の女の子にあげてもこれなら食べられると言っていました。

私の実感として、普通に中国国民が生活上に使う物はおよそ日本の10の1くらいの値段で買えるのではないのでしょうか。

日常使いの物資はこんな感じですが、贅沢品をみると、たとえばファストフードではセットメニューで40元くらいですから650円くらいします。日本では同じセットが確か580円だったと思うので日本より高くなります。自動車は仮に100万円の値段の自動車（自動車本体も日本より感覚的に3割増くらいの値段だと思います。）が税金を入れると200万円になると聞きました。つまり、自動車本体を2台買えるお金を用意しないと車は買えないことに

なります。それでも中流階級以上の人はこぞって自動車を買っているようです。

他にもいろいろと紹介したいことがあります。結論を言うとまず、とにかく普通に庶民が食べている食べ物は安いということです。中華料理が大好きで脂っこい料理が平気な方は絶対お得だと思います。でも、ひとつだけ欠点があるとすれば、あくまで僕の感想ですが、基本的に何を食べても同じ味がします。たぶん調理中に使う香辛料が同じだからだと思いますが、毎日食べるとすぐに飽きてしまいます。日本人だけでなく、フランス人、スペイン人、イタリア人もみんな同じことを言っていました。

物価のお話はこれくらいです。それとみなさんにいろいろとご心配をおかけしているテロ爆破事件の件ですが、私はまったく今までの生活を変わりなく過ごさせていただいていますのでご安心ください。本当に各方面から励ましのメールなどをいただきこの場をお借りしてお礼申し上げます。



ちょっと分かり辛いですが、手巻き寿司とサラダを作り留学生みんなで食べました。みんな喜んで食べてくれました。